

平成27年度 石川県水産振興協議会 次第

平成28年3月23日（水）  
10：30～12：00  
県庁8階801会議室

1 開 会

2 挨拶

3 委員紹介

4 会長選出

5 議 題

(1) 県水産主要施策の概要（水産課）・・・・・・・・・・資料 - 1

(2) 平成27年度水産総合センター  
研究成果等について（水産総合センター）・・・・・・・・・・資料 - 2

(3) その他

6 閉 会

## 平成27年度石川県水産振興協議会における委員からの主な意見

### 1 県の水産主要施策の概要について

#### (1) 説明概要

- ・県の水産施策体系を基に平成28年度の主要施策の概要を説明した。

#### (2) 質疑

- ・県漁協では漁船の乗組員を集めようと一生懸命やっているが、若い人が集まらない。希望者がいても仕事がきついため1、2日で辞めてしまう。水産高校の授業に底びき網の実習を加えるなど協力をお願いしたい。
- ・底びき網漁業やいか釣り漁業では、海技士免許を持った乗組員が減っており、さらに商船から誘われて漁船を離れる人もいる。海技士がいないため廃業した船があるとも聞いており、相当の危機感を感じている。県内で海技士の講習や試験を開催してもらいたい。
- ・トリガイについて、ブランド化を進めるためには、県内でももっと周知する必要がある。
- ・漁業の実状が一般の県民の方々にはなかなか見えないと思う。若い人が自然の中で仕事をしていることや、色々な方が努力されている姿を一般の方々にもわかりやすく伝える仕掛けとか様々な機会を作ることが必要。  
新たな水産振興ビジョンを作る際には、消費者をどう育てていくかということも検討していただきたい。水産県なので、他県に先駆けてそういう取り組みもお願いしたい。

### 2 平成27年度水産総合センター研究成果等について

#### (1) 説明概要

- ・平成27年度水産総合センター研究成果概要及び、寒ブリ漁と今期の不漁の理由について説明した。

#### (2) 質疑

- ・底びき網漁業では、資源管理の取り組みが進み休漁日が増えている。休漁日を有効に使い漁業者の手取を増やすため、水産加工に組みたいと考えており、水産総合センターの技術指導をお願いしたい。
- ・北海道では、ブリが大量に獲れるようになり、鮭に加えてブリの加工品も作られるようになったと聞いた。県内では、昨年、加工原料に使っている海女漁のワカメがほとんど採れていなかった。今後の資源状況について、情報提供をお願いしたい。
- ・金沢港に整備した冷蔵庫の活用について、これから検討していかなければと考えている。水産総合センターでも凍結方法等について研究をお願いしたい。

### 3 その他

- ・事務局より、協議会で出された意見を次年度の施策に反映するため、来年度は秋頃を目途に開催予定であることを報告した。